

マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社

富士エレクトロニクス株式会社分

平成27年2月期 決算説明資料

平成27年4月7日

〒113-8444 東京都文京区本郷3-2-12 御茶の水センタービル

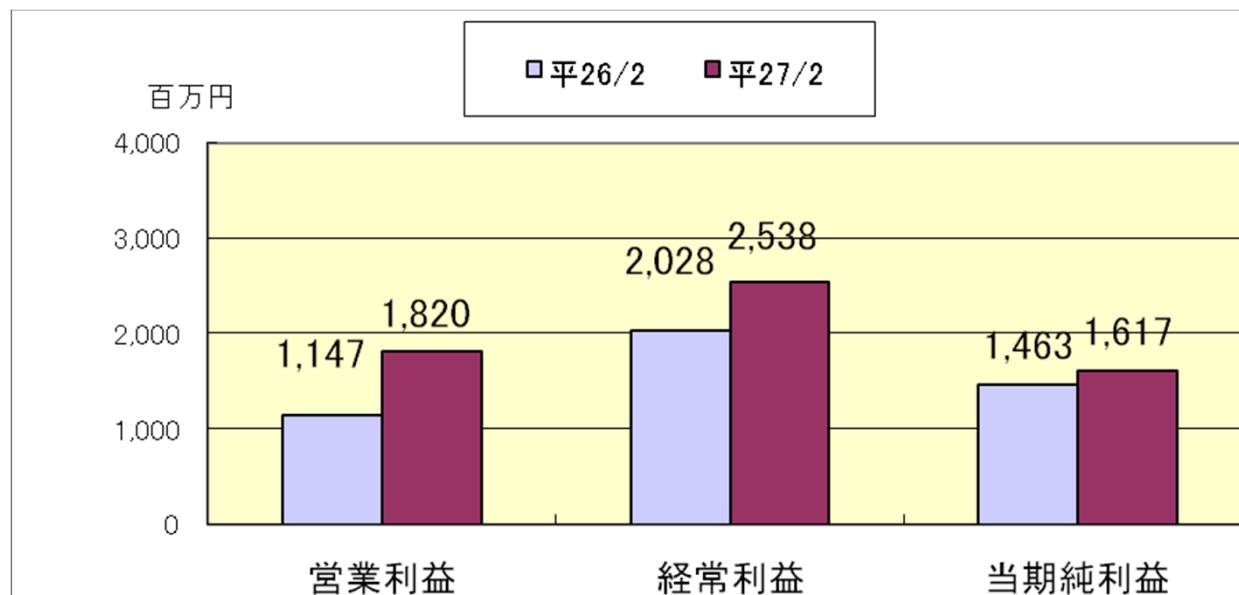
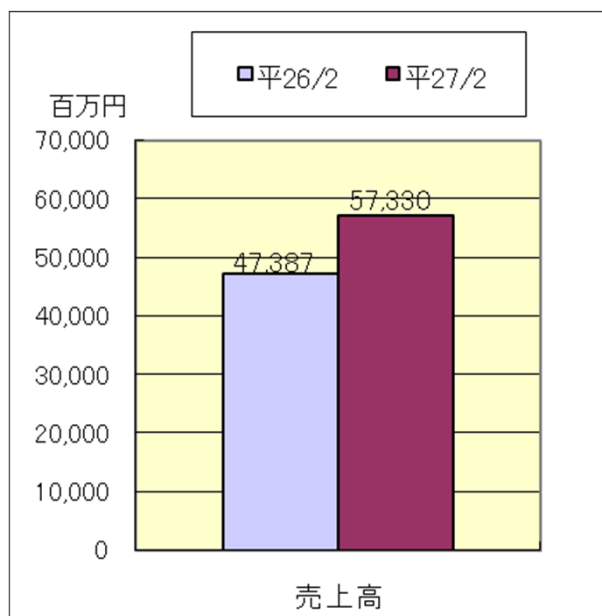
TEL 03-3814-1411(大代表) FAX 03-3814-1414

<http://www.fujiele.co.jp>

平成27年2月期 連結業績

百万円

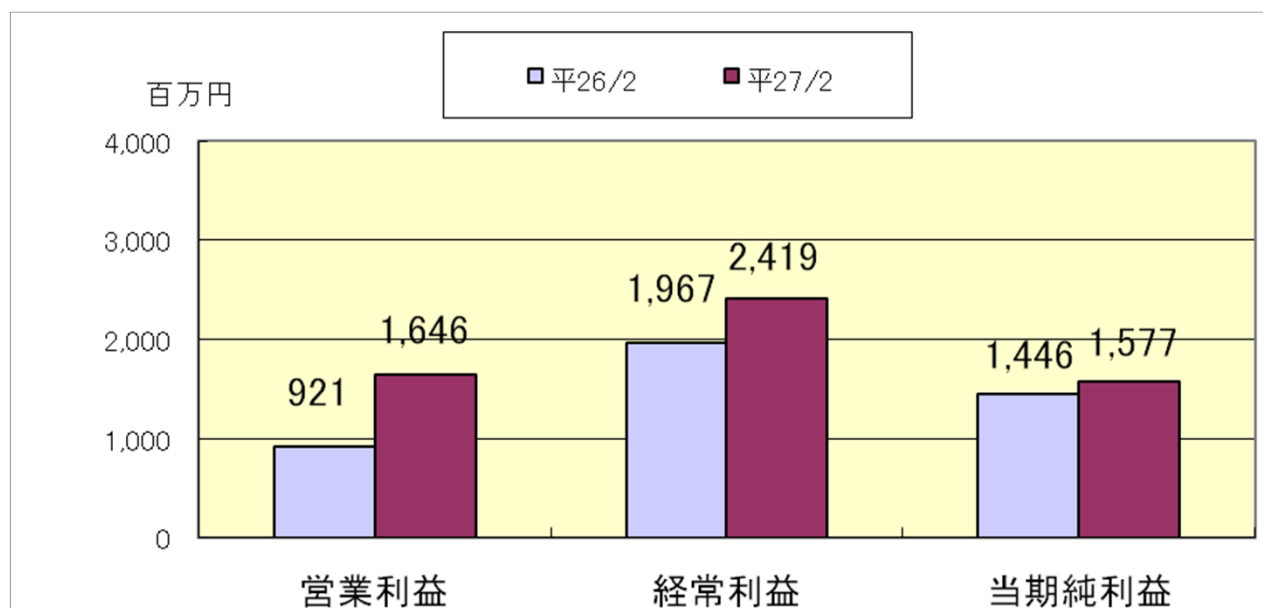
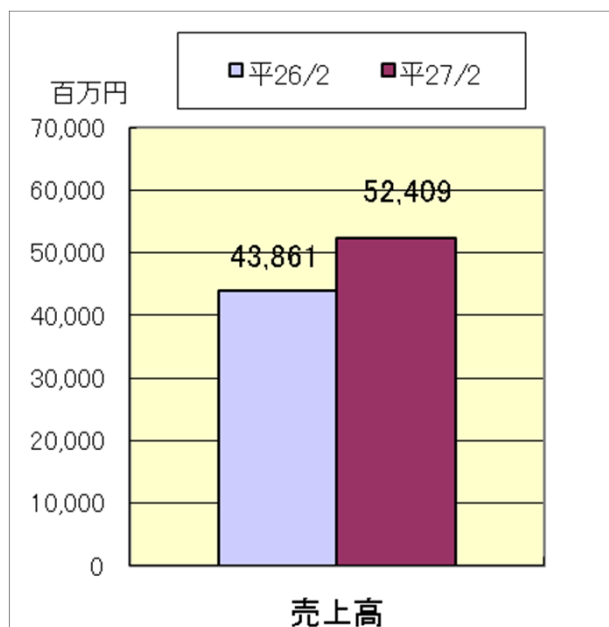
	平成26/2 実績	平成27/2 予想	平成27/2 実績	予想比 (%)	前期比 (%)
売上高	47,387	51,000	57,330	112.4	121.0
粗利率(%)	14.0	15.7	12.9		
営業利益	1,147	2,570	1,820	70.8	158.6
経常利益	2,028	2,610	2,538	97.3	125.2
当期純利益	1,463	1,670	1,617	96.9	110.5



平成27年2月期 単体業績

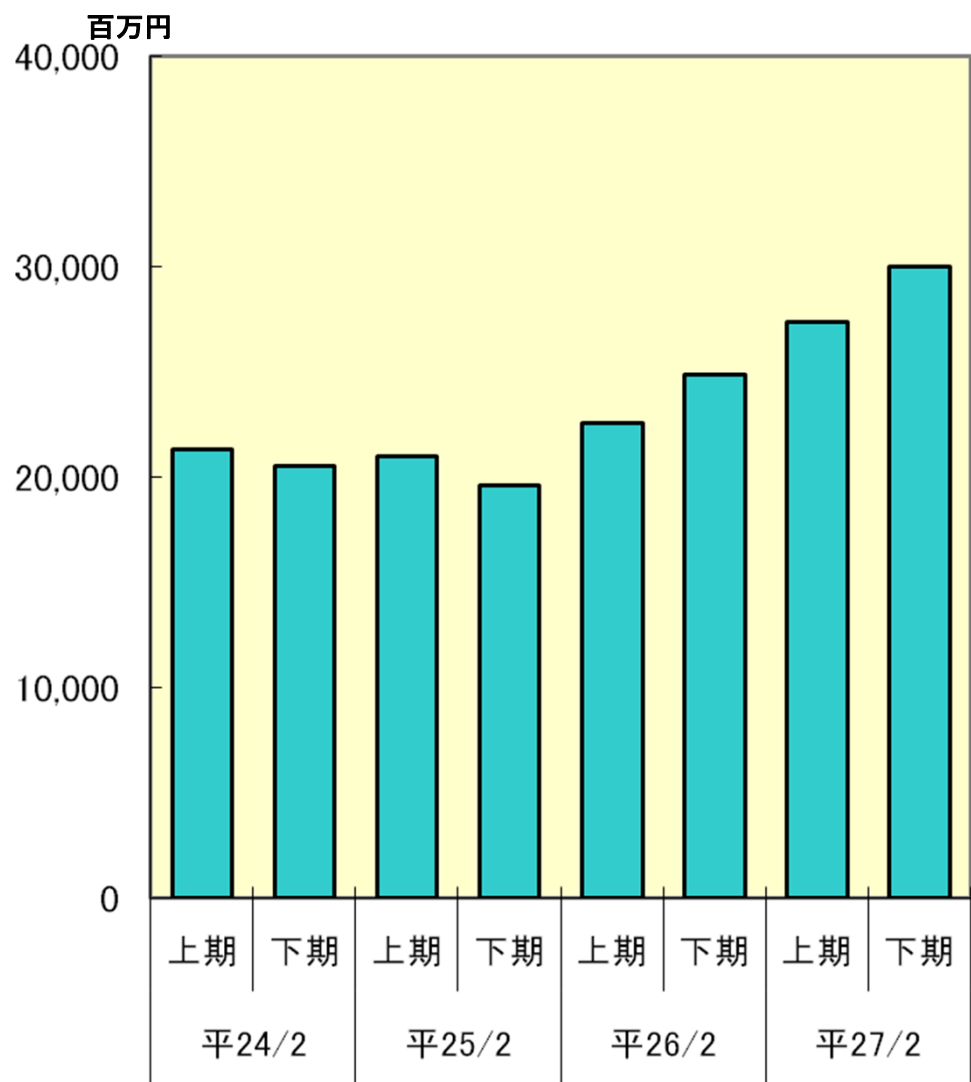
百万円

	平成26/2 実績	平成27/2 予想	平成27/2 実績	予想比 (%)	前期比 (%)
売上高	43,861	47,000	52,409	111.5	119.5
粗利率(%)	12.7	14.3	11.9		
営業利益	921	2,130	1,646	77.3	178.7
経常利益	1,967	2,400	2,419	100.8	123.0
当期純利益	1,446	1,600	1,577	98.6	109.1

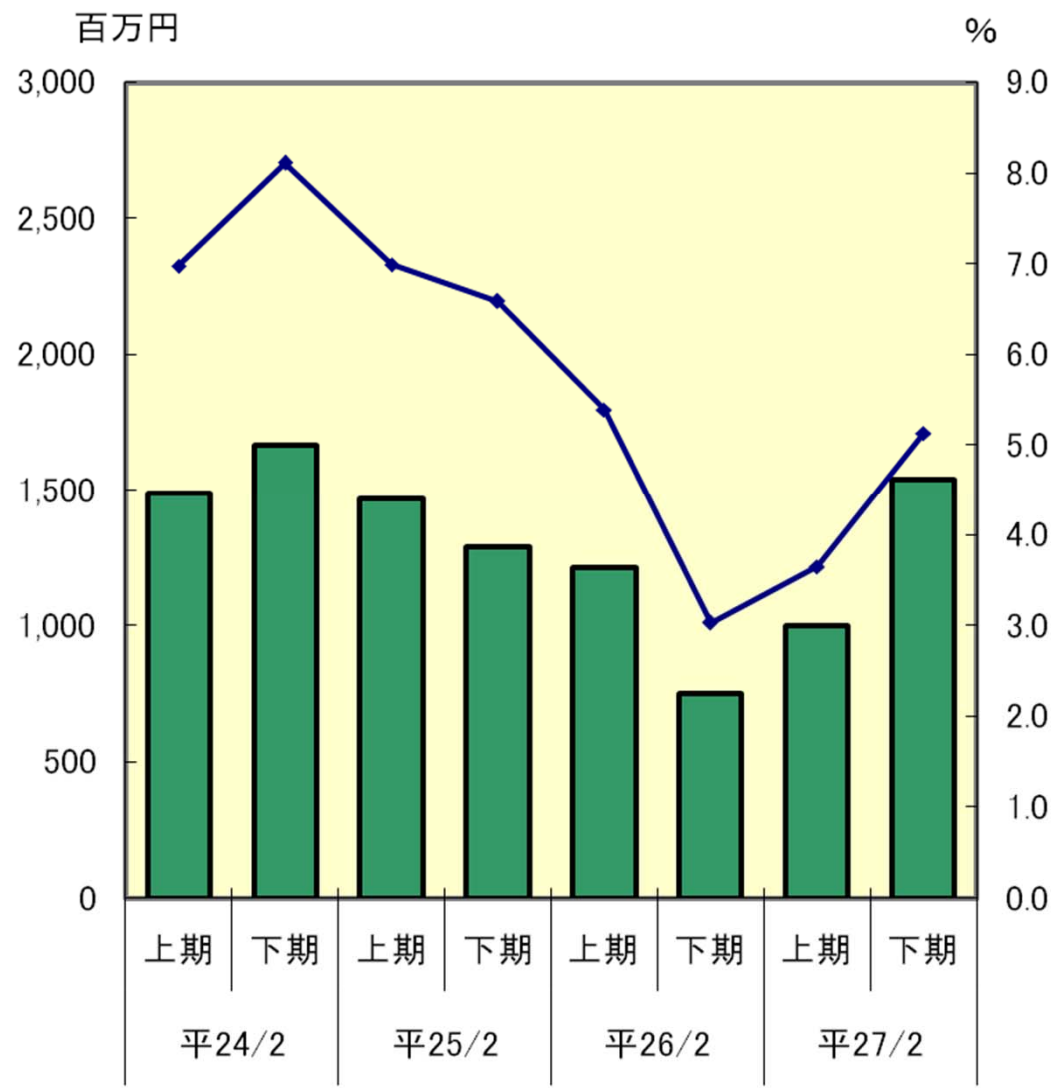


連結業績の推移

■売上高



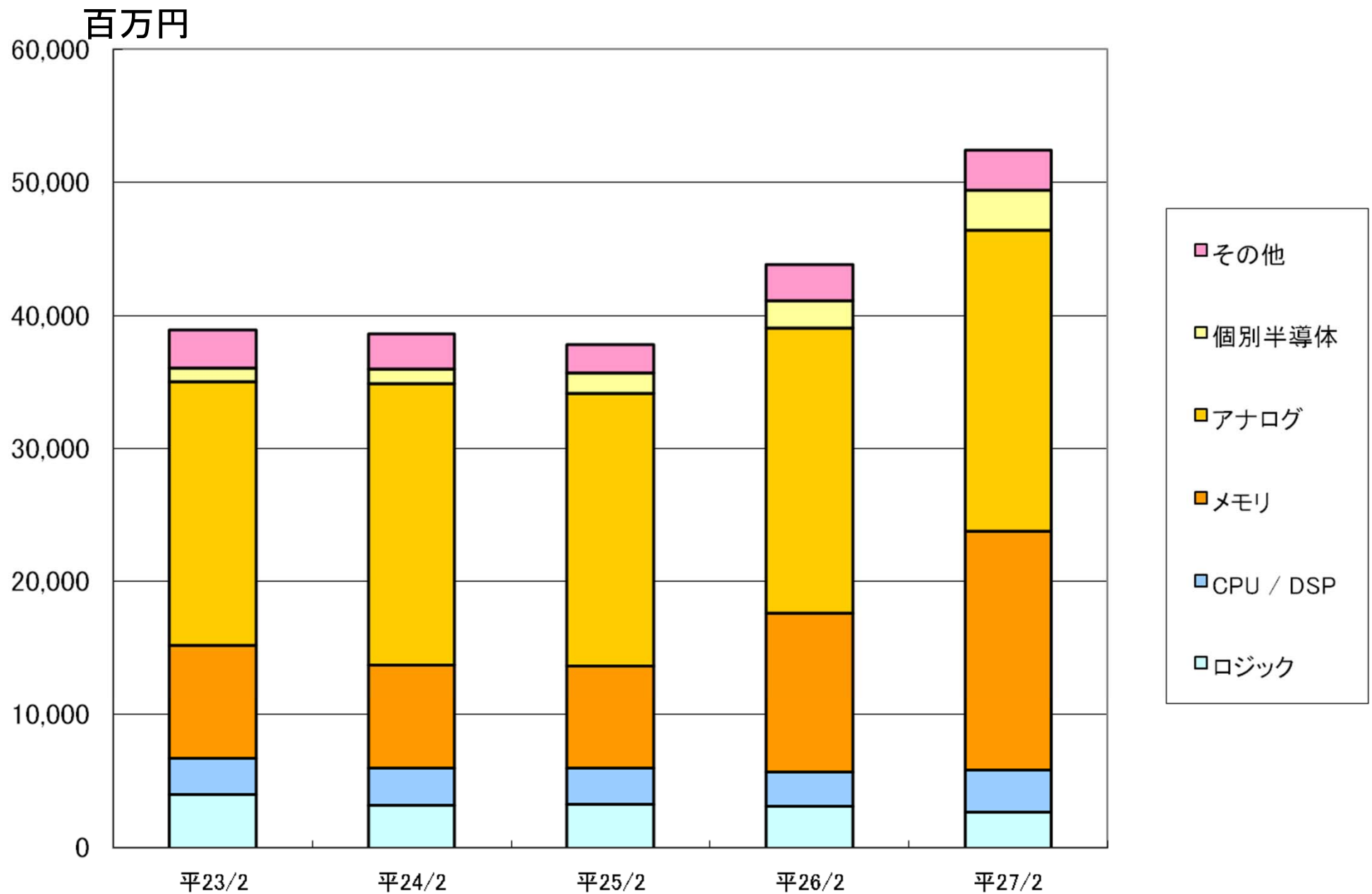
■経常利益 ◆売上高経常利益率



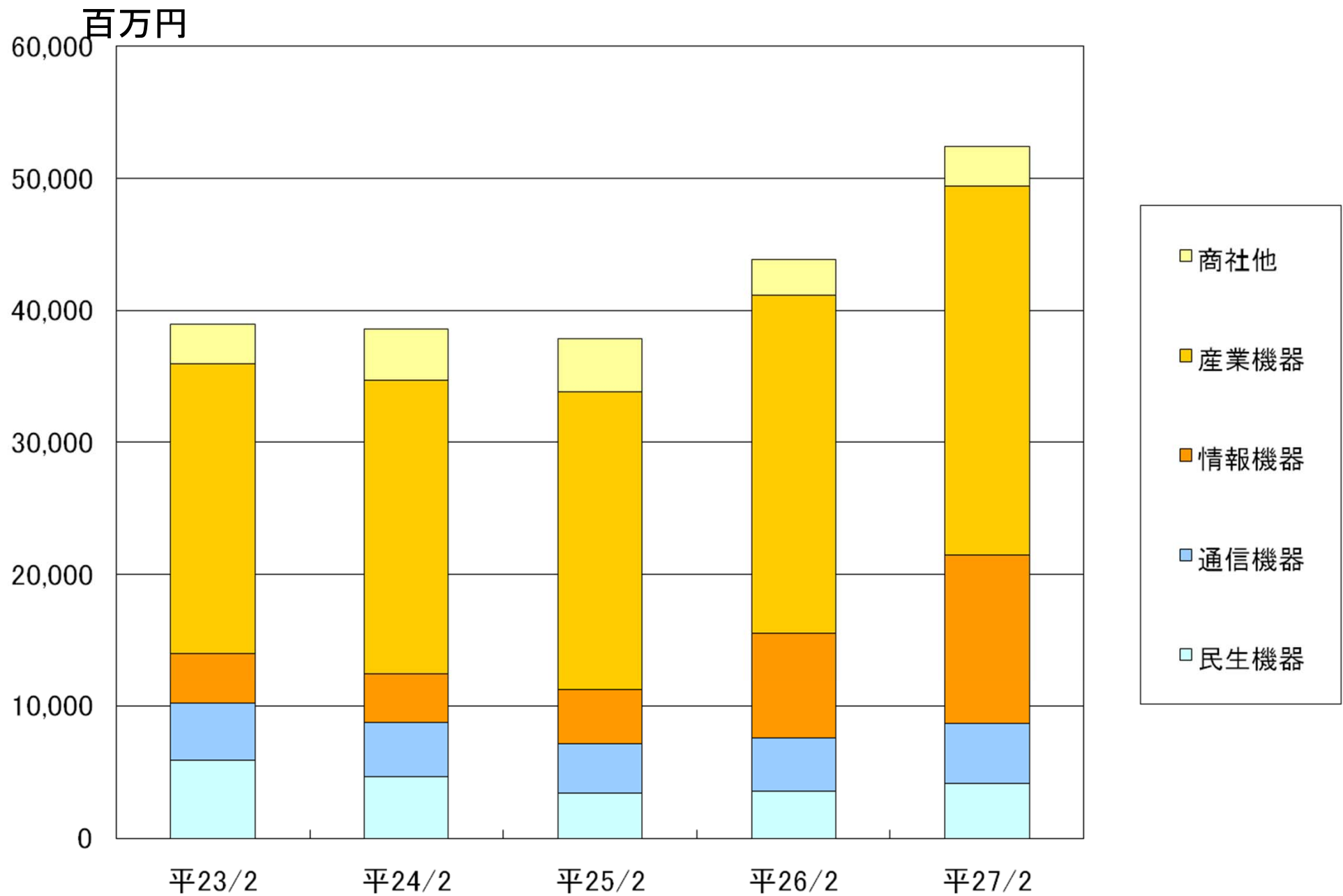
連結主要指標の状況

	平成26/2	平成27/2
総資産 (百万円)	36,454	38,926
純資産 (百万円)	23,353	24,383
当期純利益 (百万円)	1,463	1,617
1株当たり純資産額 (円)	1,664.36	1,737.31
1株当たり当期純利益 (円)	104.52	115.46
自己資本比率 (%)	64.0	62.5
自己資本利益率(ROE) (%)	6.4	6.8
営業活動によるキャッシュフロー (百万円)	△2,568	△2,122
投資活動によるキャッシュフロー (百万円)	△547	2,397
財務活動によるキャッシュフロー (百万円)	△618	△944
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	9,163	8,658
従業員数 (名)	414	414

品目別売上高（単体）



用途別売上高（単体）



主な用途先と仕入先メーカー（単体）

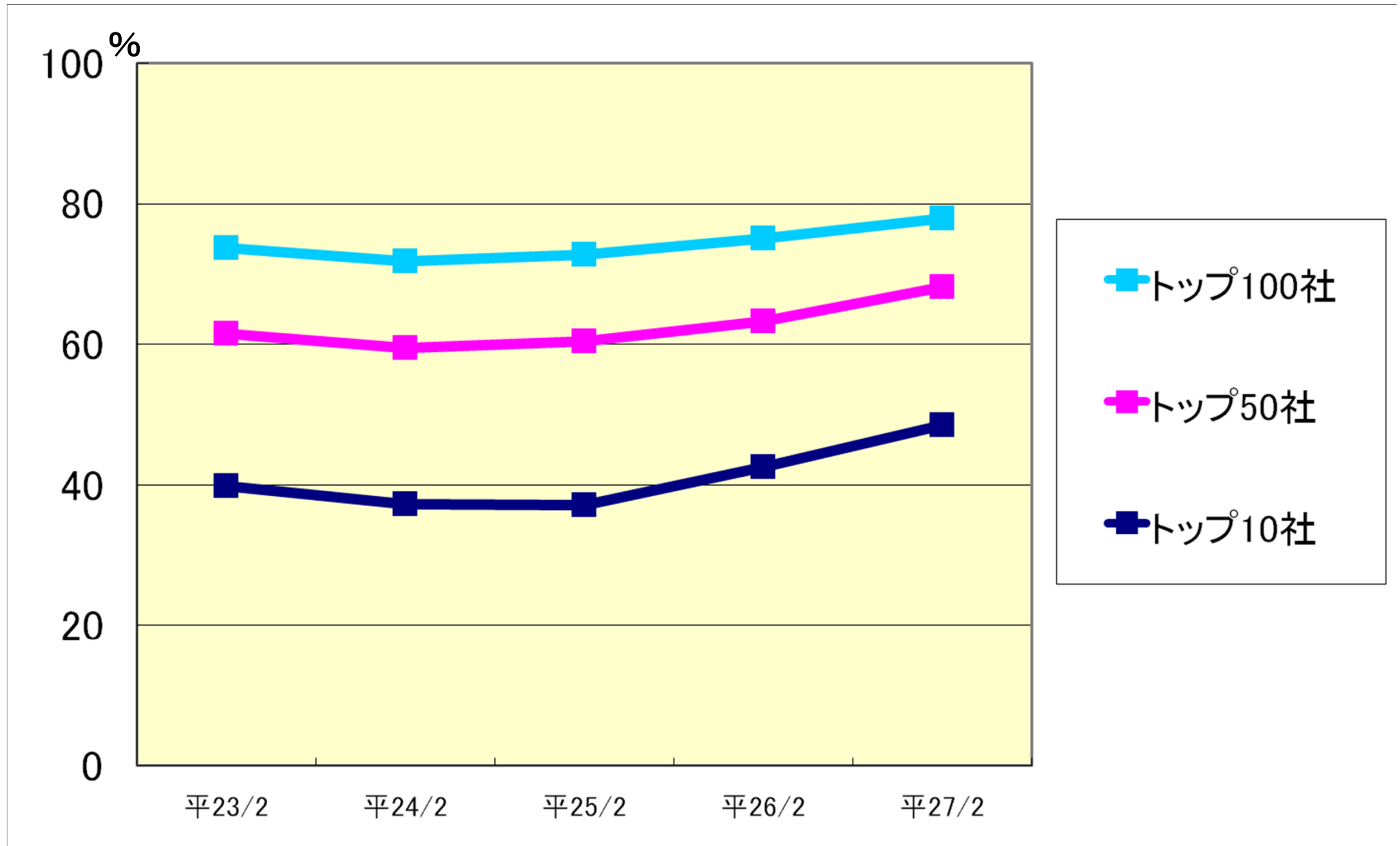
主な用途先

民生機器	カーナビ、オーディオ、エアコン等
通信機器	携帯電話および基地局、次世代ネットワーク等
情報機器	PCおよび周辺機器、サーバー等
産業機器	FA機器等製造装置、半導体製造装置、計測器、事務機器、医療機器、モーター制御、電源装置、宇宙・防衛関係、アミューズメント等

主な仕入先

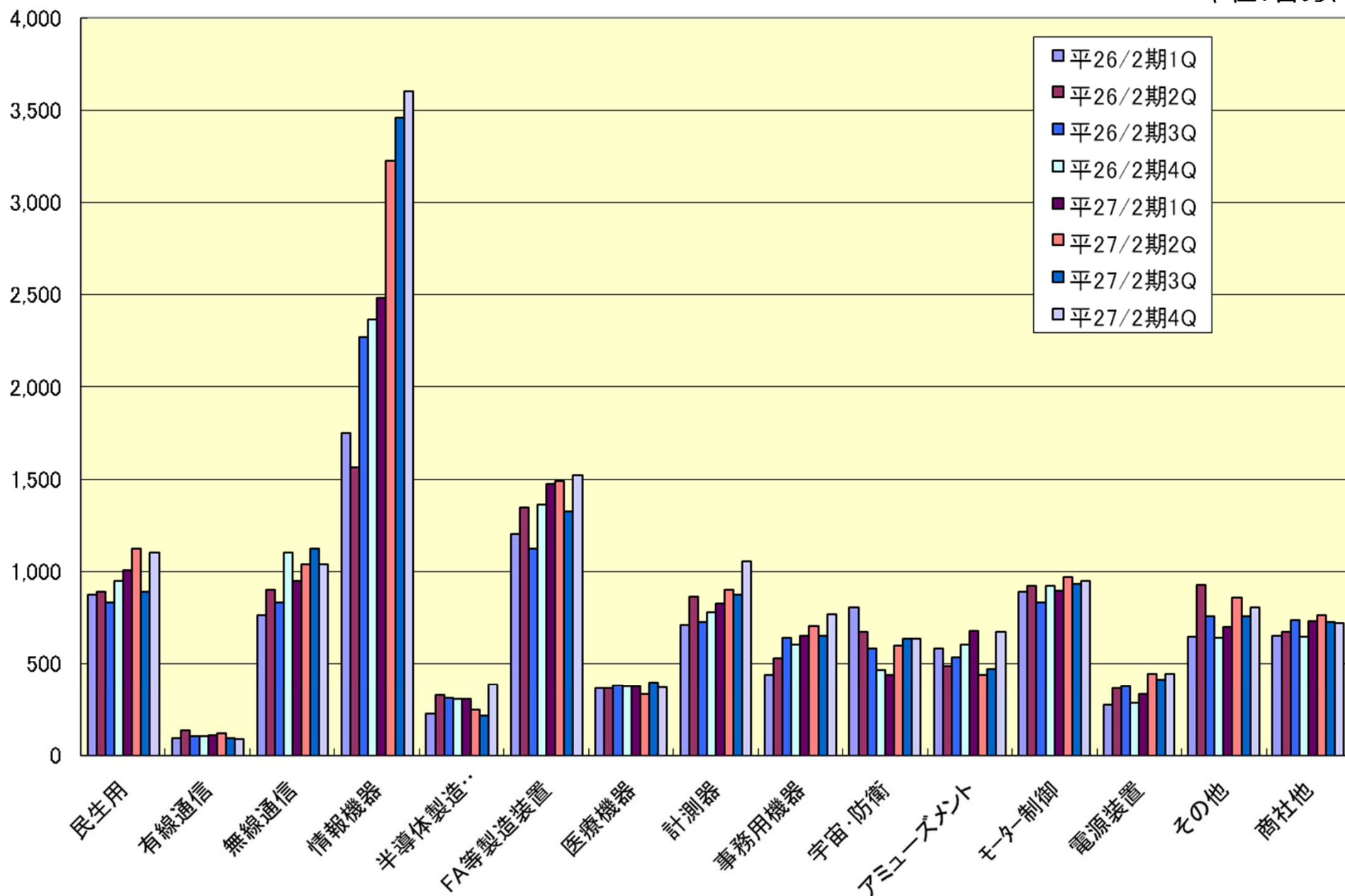
個別半導体	アバゴテクノロジー、フェアチャイルドセミコンダクタ、オンセミコンダクタ、クリー、インフィニオン、
アナログIC	アナログデバイスズ、テキサスインスツルメンツ、
メモリIC	マイクロン、サイプレス、オンセミコンダクタ、
ロジックIC	テキサスインスツルメンツ、サイプレス、ラティスセミコンダクタ、オンセミコンダクタ、ステップテクニカ、
CPU/DSP	テキサスインスツルメンツ、アナログデバイスズ、

客先別売上比率（単体）



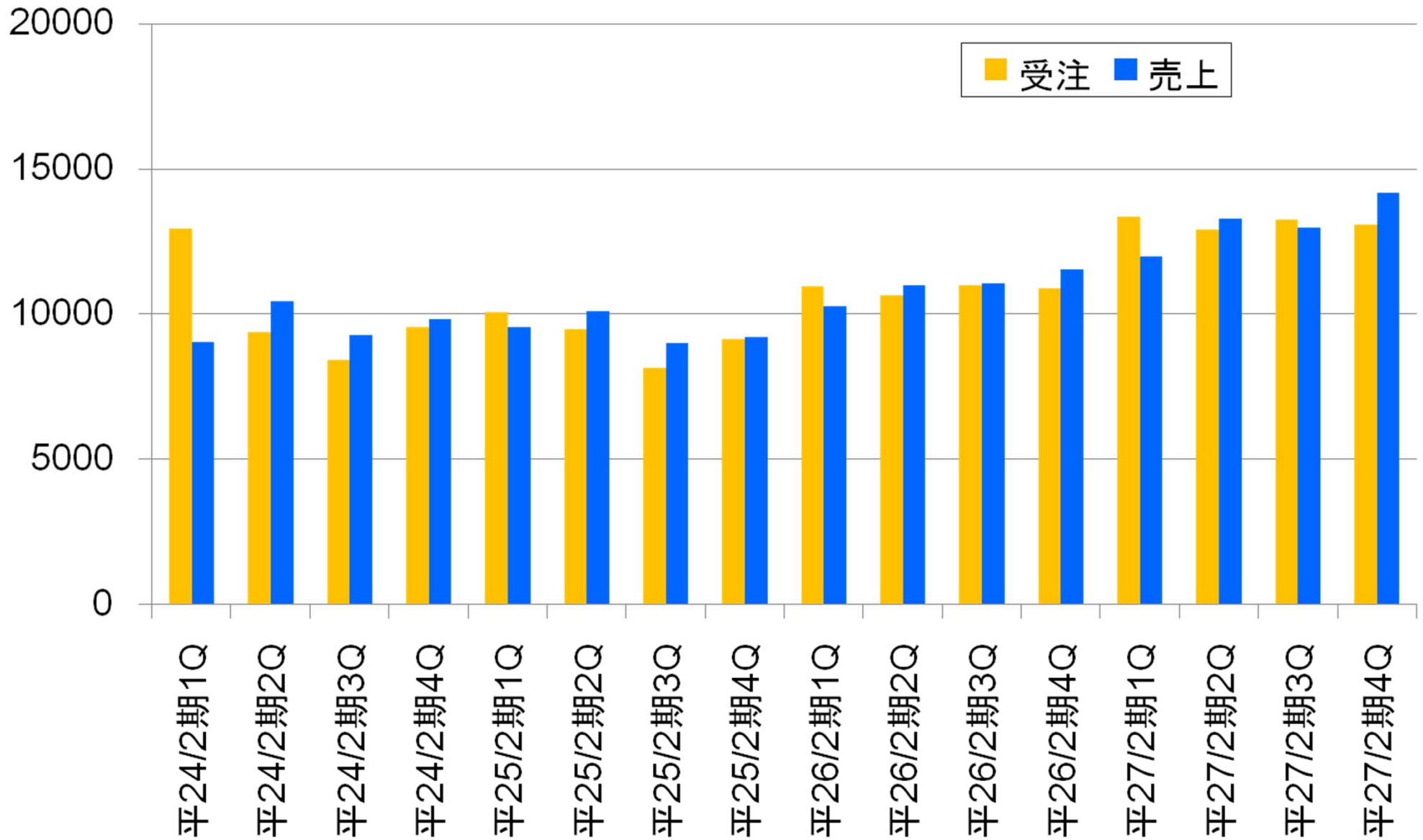
用途別売上高の四半期推移(単体)

単位:百万円



受注・売上額の四半期推移(単体)

百万円



受注・売上の四半期推移(単体)

百万円 前年同期比(%) 前四半期比(%)

受 注	平26/2期 1Q	10,954	108.6	119.8
	2Q	10,661	112.5	97.3
	3Q	11,003	134.8	103.2
	4Q	10,901	119.2	99.1
	平27/2期 1Q	13,350	121.9	122.5
	2Q	12,920	121.2	96.8
	3Q	13,238	120.3	102.5
	4Q	13,074	119.9	98.8
売 上	平26/2期 1Q	10,290	107.7	111.8
	2Q	10,984	108.8	106.7
	3Q	11,053	122.9	100.6
	4Q	11,533	125.4	104.3
	平27/2期 1Q	11,972	116.3	103.8
	2Q	13,281	120.9	110.9
	3Q	12,987	117.5	97.8
	4Q	14,168	122.8	109.1

平成27年2月期のまとめ

1. 当期の国内経済環境は、円安・株高の進行や、原油安の影響などにより企業業績は全般に回復基調となりました。海外では、米国は緩やかな回復が進行しております。一方、中国の景気減速や欧州通貨危機の再燃など不透明要素もあるなかで、全般には堅調な推移となりました。

半導体業界は、自動車関連やスマートフォン、タブレットPCなどが好調でした。また産業機器市場も、太陽光発電などで新たな設備投資需要が生まれるなど堅調な増加となり、世界の半導体市場は2年連続で過去最高を更新しました。

2. こうした中、単体では、主力の産業機器市場の緩やかな回復と商流移管の効果などにより売上は順調に増加しました。利益面では円安の進行による仕入価格の上昇から営業利益は期初予想に届きませんでした。売上増の効果により前年からは増収増益となりました。

その結果、連結では、売上は、予想比12.4%増、前期比21.0%増、経常利益は予想比2.7%減、前期比25.2%増となりました。

3. 連結子会社は、アジア地区では、香港、上海が海外直取引の増加などにより順調に業績を伸ばし、タイも単年で経常黒字化を達成しましたが、シンガポールは営業損失となりました。米国は宇宙向け大口案件の終息により減少しました。国内は一部円安の影響もあり、増収減益でした。

子会社合計では、前期比で 売上で24.6%増、経常利益は3.8%減となりました。

平成27年2月期のまとめ

4. 用途別では、

メモリ大口先の情報機器向けは、昨年引き続きNAND FLASHが大幅増となり売上増をけん引しました。

FA製造装置・計測器など主力の産機市場向けは、設備投資の緩やかな回復と商流移管により全般に好調でした。民生機器、事務機器、電源機器なども堅調な増加となりました。宇宙・防衛向けは大口案件の終息により減少しました。

WSTS(世界半導体市場統計)市場予測

伸び率:%

市場	予測	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
日本 (円)	2014/5月	Δ4.2	3.7	4.0	2.0	3.0
	2014/12月			7.1	0.4	0.9
世界 (\$)	2014/5月	Δ2.7	4.8	6.5	3.3	4.3
	2014/12月			9.0	3.4	3.1

経営統合について

- 平成27年4月1日をもって、共同株式移転の方法により「マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社」が設立、東京証券取引所第一部へ上場(証券コード3132)いたしました。
 - 当社は、主力である産業機器市場、中堅中小客先において、株式会社マクニカの持つ豊富なラインカードを生かして、今後ますます強みを発揮できるよう注力してまいります。また当社の持つラインカードを株式会社マクニカの販売ルートで拡販していくなど、両社の持ち味を十分に活用してシナジー効果を追求してまいります。
 - 次期の業績及び配当予想につきましては、4月下旬にマクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社の平成28年3月期業績予想および配当予想に関する発表を予定しております。
- * 当決算説明資料は、経営統合前の、富士エレクトロニクス株式会社 平成27年2月期決算に関する資料であります。